

【概要】

公開日：2020年9月7日

ミャンマー：ビルマ軍による残虐行為の疑いへの加担を回避するため、アッパーイェワダムプロジェクトからの撤退を企業に要請（企業回答あり）

Shan Human Rights Institute がまとめたレポートは、ビルマの紛争地帯における大規模な資源採取とインフラプロジェクトの副次的な悪影響に着目し、この一帯を保護しているビルマ軍による残虐行為への加担を避けるため、外資系企業にアッパーイェワダムプロジェクトからの撤退を要請しています。

レポートに記載されている会社は次のとおりです。High Tech Concrete Technology 株式会社、IPGRB（ギリシャの農業関連組織）、ミャンマーにおける RAZEL-BEC の合弁会社、Stucky SA、東芝、雲南機会輸出入有限公司、浙江省オリエンタエンジニアリング。

ビジネスと人権リソースセンターは、レポートで提起された懸念に対応するために、上記の企業に回答を求めました。Stucky SA と東芝のみが返答しました。（下段に掲載）

【記事概要】

公開日：2020年7月9日

ミャンマー：Kyaukme のアッパーイェワダムサイト近くの RCSS/SSA に対する作戦中のビルマ軍による超法規的殺害、拷問

Shan Human Rights Institute

[…]

[…]最新の違反は[…], 虐待的で説明責任を果たさないビルマ軍によって保護されている、ビルマの紛争地帯における大規模な資源抽出とインフラストラクチャプロジェクトの致命的な副次的影響を際立たせています。私たちは、土地や資源を保護する権利を地元の人々に与える新しい連邦憲法のもとで、真の平和と権力の以上があるまで、このようなすべての投資プロジェクトに対する一時停止の要求を繰り返します。

一帯を保護しているビルマ陸軍による残虐行為への加担を回避するために、以下の外国企業にアッパーイェワ水力発電ダムプロジェクトからの撤退を明確に要請します。スイスの Stucky SA、フランスの RAZEL-BEC、IPGRB（ギリシャ）、中国の雲南機械輸出入有限公司と浙江省オリエンタエンジニアリング、日本の東芝、High Tech Concrete Technology 株式会社（ミャンマー）。

[…]

もっと読む

【企業からの回答】

◆ **Stucky SA**

2020年8月26日

Stucky SA はすでに、アッパーイェワプロジェクトに関与していません。

◆ **株式会社東芝**

2020年8月7日

Sustainability Management Office

[…]

アッパーイェワ水力発電ダムプロジェクトについては、我々の中国にある子会社が中国の浙江省オリエンタエンジニアリング株式会社と業務契約を結んでおり、アッパーイェワ水力発電所プロジェクトの EPC*請負業者であり、ミャンマー電力会社への供給者である浙江省オリエンタエンジニアリング株式会社に水力タービンと発電機を供給しています。

*EPC:エンジニアリング、調達、建設

我々はこの件を浙江省オリエンタエンジニアリングと共有し、浙江省オリエンタエンジニアリングに現在の状況を確認するよう依頼しました。状況を確認し、必要に応じて、ミャンマー電力会社に適切な措置をとるよう依頼するよう、浙江省オリエンタエンジニアリングに要請します。

東芝グループは、国連グローバルコンパクトに署名しており、人権に関する当社の方針は、東芝グループ行動基準に明記されています。我々は、事業活動に関わるすべての利害関係者の人権を尊重する責任を認識しています。

東芝グループは、バリューチェーン全体で CSR の責任を果たし続けるよう努めるとともに、取引先との緊密な連携により、万が一人権侵害が発生した場合には、その改善に努めます。

[…]